

「イソベっちの、前へ前へポッポー！」

2011年5月22日(日曜)

ゲスト: 藤田昌三さん(電子遺言バンク株式会社 代表取締役)

第7回の「のびのびさん」は、電子遺言バンク株式会社、代表取締役の藤田昌三さんです。

Q. 何をされている会社ですか？

自分が亡くなった時に、預金通帳がどこにあるとか、誰に伝えてくれとか、家族への言葉などを書き留めておくエンディングノートがありますが、我が社は、文字だけでなく、自分の写真や声、動画、ビデオレターなどを合わせながら、インターネットに残せられるようなサービスをしている会社です。

Q. ビジネスをスタートさせたキッカケは？

私の父が数年前に亡くなりました。自分に対するメッセージや自分に対する期待、自分に何を伝えたかったのかをもっと知りたかった。そのような心を繋ぐものがあればいいのに、と思ったのがキッカケです。ベンチャー企業のビジネスプランを審査して、有望な企業を認定する「大商EVEシステム」の支援を受けてビジネスをスタートしました。

Q. 残された家族にとっては大事なことですな。

人生で築く財産は3つあります。①お金や不動産などの経済的な財産、②友人や家族などの人的な財産、③知恵や経験などの精神的な財産。これらを伝えることは大事だと思います。法的な遺書は①を伝えるためのものですが、②③を伝えることも必要だと考えています。

Q. 親と子が離れて暮らしていると伝えきれないことがありますよね…

そういう意味でも、かわいい子には財産よりも言葉を残すことだと思います。財産は使ってしまったらそれで終わりですが、言葉は人の心に生き続けて、勇気を与えたり、生きる希望を与えたりしてくれますから。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「出来る方法は山ほどある 出来ない理由も山ほどある」

何でも新しい事を始める時、必ず出来ない理由ばかりを探す人がいますが、出来るまで頑張るのが大事ではないかと考えて日々努力するようにしています。

ありがとうございました。